

安全と省力化を追求した新製品を展示 「第 9 回鉄道技術展 2025」にアクティオブースを出展 アクティオブース 幕張メッセ ホール 6 小間番号[J-40]

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、2025 年 11 月 26 日(水)~29 日(土)の 4 日間、幕張メッセで開催される鉄道分野の技術が横断的に会する総合見本市「第 9 回鉄道技術展 2025」に出展いたします。



前回の様子

アクティオは、鉄道分野においてもレンタルとコンサルティングを融合させた「レンサルティング®」を通じて工事力の維持、向上に必要な機械や機材を改良・開発し、現場のニーズにあわせた様々な鉄道工事用建設機械と技術力を提供しています。

今回のブースでは、安全性の向上に寄与する軌陸ダンプや FRP 製トラック昇降タラップ、作業効率の向上に寄与する台車など、新製品を含め様々な機種を展示し、お客様に最適解を提案していきます。

※本展示会の 11 月 29 日(土)はビジネス関係者との商談の場となる「ビジネス DAY」と、鉄道業界の未来を担う人材との出会いの場となるリクルーティングイベント「鉄道業界探求フェア」の二本立てとなります。

■主な出展機種

衝突軽減装置付き軌陸ダンプ 型式:D-1628

キャビンとバッセル(ダンプの荷台)の間に工具の積載スペースを設置し、載せ替え作業の手間を減らせる軌陸ダンプ「D-1628」に衝突軽減装置を搭載しました。

衝突軽減装置の検知距離は 15m。赤外線で物体を検知すると同時にブレーキを作動させます。空走距離をなくし、迅速にブレーキをかけることで衝突時の衝撃を低減します。



無線式超音波センサ OM-AX/BT

高所作業車やクレーン上部などに取り付ける障害物検知センサです。回転灯の音と光に加え、バイブレーターの振動と音でも危険をお知らせします。

センサと回転灯は無線で接続され、電源 ON にするだけで使用可能です。取り付けは、センサはクリップ式、回転灯はマグネット式となっており、フレキシブルに対応できます。

FRP 製トラック昇降タラップ

絶縁タイプのため、感電リスクを大幅に軽減します。重さは 6kg と軽量で持ち運びが容易です。

足元には滑り止めを使用し、手掛かり長さは 600mm 突き出し可能で安全面も配慮されています。



アクロス台車フットブレーキ付

配筋や敷き鉄板の段差、土、砂利上などの悪路をスムーズに移動できる台車です。搬送負荷が軽減されるので軽い力で運搬可能です。

フットブレーキを搭載しているため、足で軽くワンタッチするだけで台車のロックと解除が行えます。

軌陸ダンプ積載型高所作業台(参考出展)

トンネル内の点検・補修工事に活躍します。オンレール時の最大高さは 3.2m と低く設計。上下の床は最大1m張出可能でトンネル側方へのアプローチを大幅に改善します。新構造のリフト機能により、スムーズ且つスピーディーな荷台の昇降が可能です。

※開発中のため仕様が変更になる可能性があります。



■開催概要

名 称	第 9 回鉄道技術展 2025 Mass-Trans Innovation Japan 2025
会 期	2025 年 11 月 26 日(水)～29日(土)10:00～17:00 ※29日(土)は 16:00 まで
会 場	幕張メッセ 4・5・6・7・8ホール(千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1) アクティオブース 小間番号【J-40】
主 催	産経新聞社
後 援	国土交通省、文部科学省、千葉県、千葉市、独立行政法人日本貿易振興機構、 独立行政法人国際協力機構、独立行政法人自動車技術総合機構 交通安全環境研究所、 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、北海道旅客鉄道株式会社、 東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、 四国旅客鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社、日本貨物鉄道株式会社、 東京地下鉄株式会社、東急電鉄株式会社、一般社団法人鉄道模型コンテスト

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専

門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、吉田

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp